

新庄東高等学校生徒と県議会議員との意見交換会開催状況

開 催 日	令和5年8月29日（火）
開 催 場 所	学校法人新庄学園新庄東高等学校（新庄市）
出 席 議 員	森田廣、加賀正和、吉村和武、佐藤正胤、松井愛
参 加 者	生徒38名
意見交換の概要	<p>「持続可能な山形県に向けて」を全体テーマとして、①防災・災害の避難、②若者の流出、③少子高齢問題、④今後の観光政策、⑤まちづくりの5班に分かれてワークショップ形式で意見交換を行った。また、生徒が各班で取りまとめた内容を発表した。</p> <p>【主な意見等の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時に確認するホームページがいろいろあるので、慌てることになると思う。また、防災対策は県と市町村の連携を密にしてほしい。 ・ 自分が住む最上町から新庄市を經由して、山形市に電車行くためには時間がかかる。電車の本数を増やすことは難しいとしても、ダイヤを見直しして乗継ぎを改善してほしい。 ・ 若者の流出を減らすために育児しやすい環境をつくること、子どもを生み育てたくなる政策が重要である。自分が親の立場になると考えてみて、金銭的なサポートや相談を受けられる体制、職場環境などを充実させていけばよいのではないかと思う。 ・ 地元への関心がないことが課題であるため、まずは地元を知ることが大切である。SNSで情報を拡散することで、観光客も増えると考えた。また、観光を産業として捉えると、旅館を支える食料品店や電車・タクシーなどの存在も大切で、観光がまちづくりにもつながることが分かった。 ・ 全ての施策は最終的にはまちづくりにつながると思う。教育の観点からは、山形県の全国学力テストの順位があまりよくないが、親の価値観などを含めて周囲の環境をつくっていくことが必要。